

産学連携全国がんゲノムスクリーニング -SCRUM-Japan
記者発表会 (2015/03/10)

産学連携全国がんゲノムスクリーニング (SCRUM-Japan)の概要

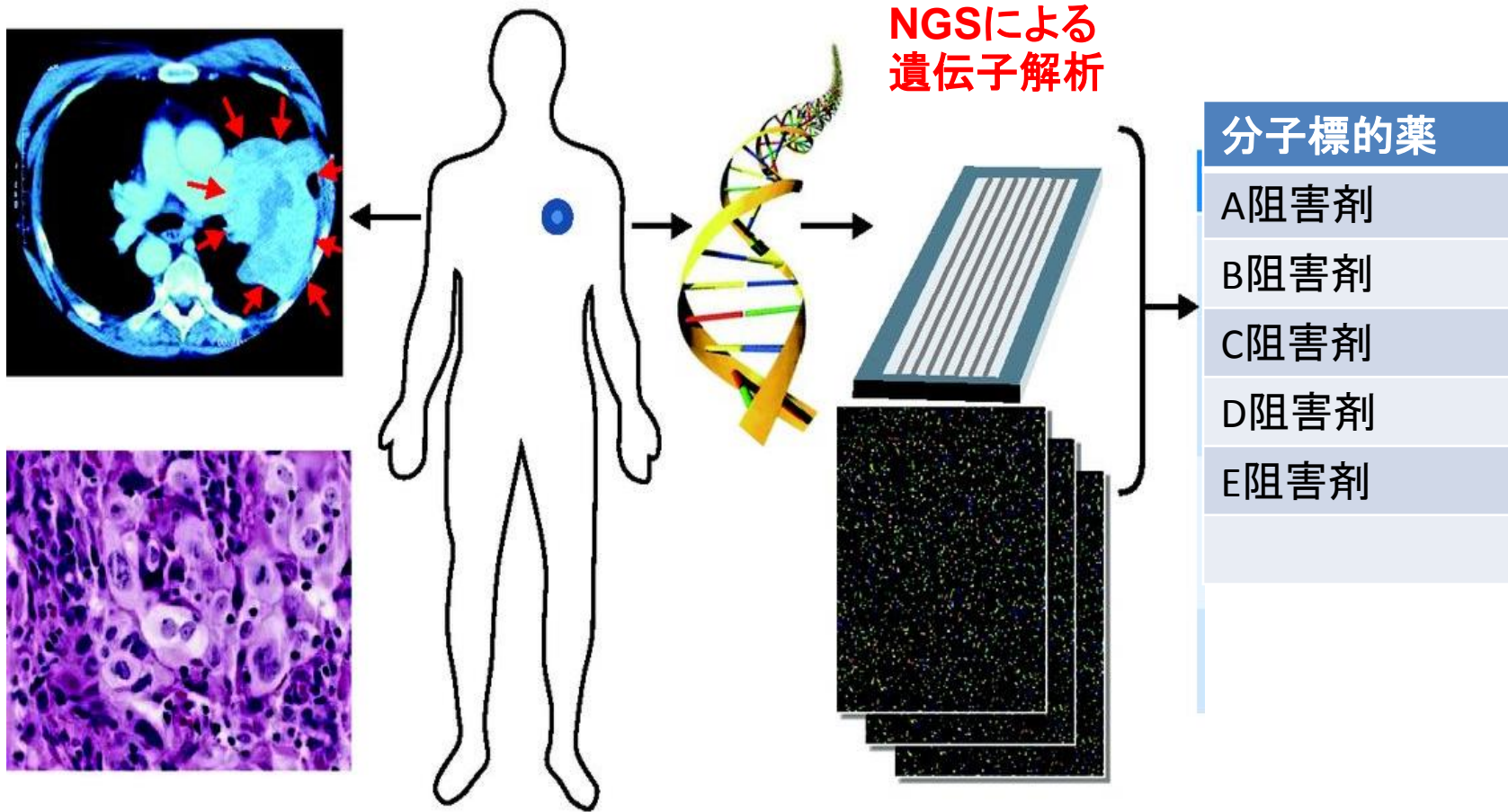
国立がん研究センター
早期・探索臨床研究センター/
東病院臨床開発センター
大津 敦

NCC
EPOC | Exploratory Oncology Research & Clinical Trial Center
早期・探索臨床研究センター

日本から、がん治療の
新たな時代を切り拓く。



ゲノム解析による薬剤選択の最適化: clinical sequencing



多数の分子標的薬(未承認・適応外含む)
の中から検出された遺伝子異常に最適な
治療薬を選択

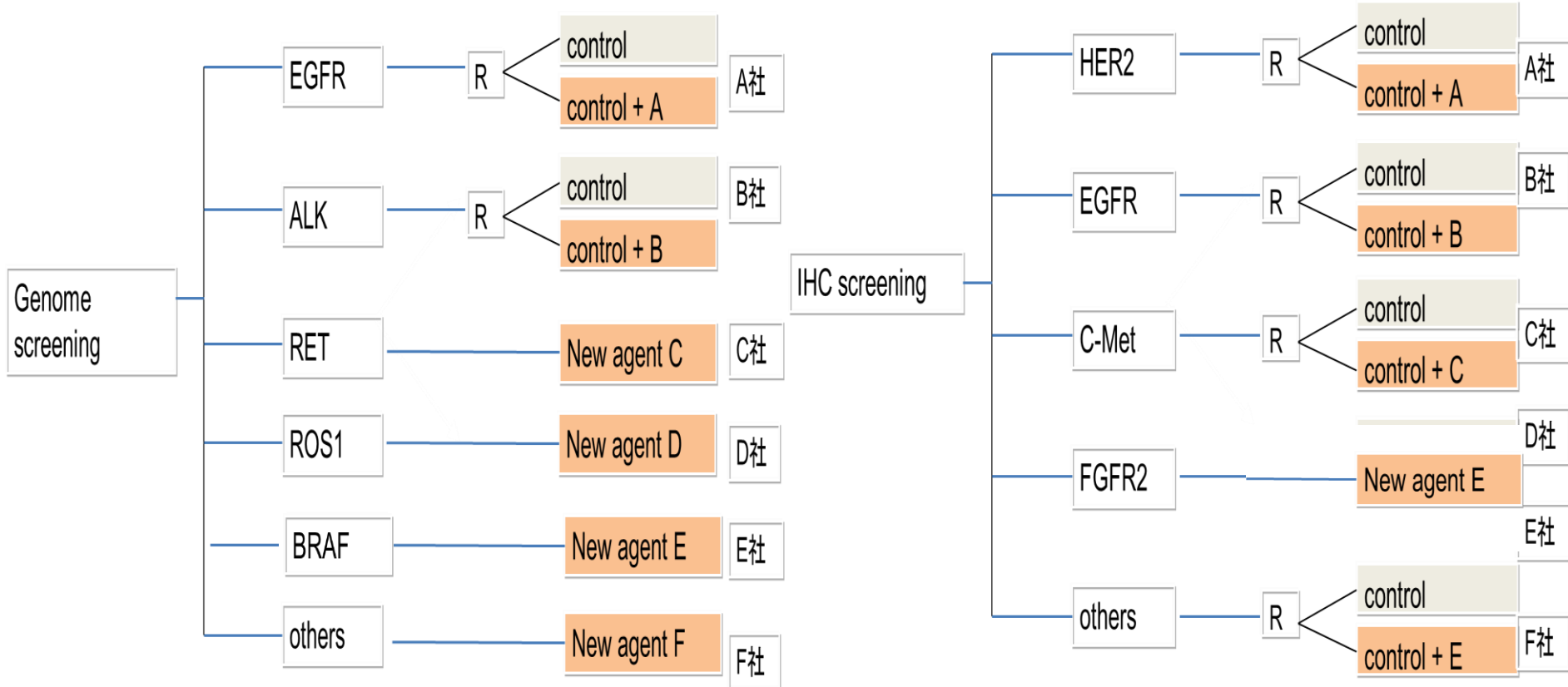
ゲノム・分子異常解析に応じた開発試験: (umbrella type study)

開発治験ではすでに現実の世界となりつつある



genome pre-screening: LC

IHC pre-screening: GC



それぞれ個別に検索していたら実臨床が進まない
= 包括的解析で結果を各社共有する必要性

SCRUM-Japan:組織と参加企業

代表者：堀田知光

外部アドバイザー

がん研究会 野田 哲生

東京大学 間野 博行

PMDA 矢守 隆夫

【参加企業】（2015年3月4日現在 契約締結済み企業、五十音順）

アステラス製薬株式会社

アストラゼネカ株式会社

Amgen Inc.

エーザイ株式会社

小野薬品工業株式会社

協和発酵キリン株式会社

第一三共株式会社

大鵬薬品工業株式会社

中外製薬株式会社

ファイザー株式会社



NCC
EPOC

国立がん研究センターと上記企業との共同研究として実施

SCRUM-Japanは、

●産官学合同プロジェクト

●日本国民のための国家プロジェクト

産学連携全国がんゲノムスクリーニング SCRUM-Japanの特色

国立がん研究センターの事業（代表者：堀田知光）として、国立がん研究センターと複数の製薬企業が協働し、全国がんゲノムスクリーニング事業を設立

外部アドバイザーとして、下記3名が就任

- がん研究会 がん研究所 所長 野田 哲生先生
- 東京大学大学院医学系研究科生化学・分子生物学講座細胞情報学分野 教授 間野 博行 先生
- 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）審査センター長 矢守 隆夫 先生

Multiplex診断薬による遺伝子スクリーニングを全国規模で実施（約200の医療機関が参加）

- NCI-MATCH試験で採用決定されたOncomine® Cancer Research Panel (OCP)を採用
- CLIA laboまたは技術移管を受けた検査会社（SRL）でOCP検査を実施
 - いくつかの製薬企業ではOCPをCTA (clinical trial assay)に採用
- 実績のあるLC-SCRUMとGI-SCREENが統合され、SCRUM-Japanへ
- NCI-MATCH試験との統合解析を予定

高いSecurity機能を有する共通データベースを構築（患者毎にがん遺伝子異常と臨床データを収集）

遺伝子変化に基づいた個別化治療の臨床開発の促進

- ご支援いただける製薬企業すべてと同じ契約内容、データ提供

日本から世界に向けて

SCRUM-Japanに期待されること:

- **NGSパネルによるがんゲノム医療の普及**
- **がん最適化治療の全国的基盤**
- **日本全体の新薬開発試験の活性化**
- **次の創薬に向けたゲノム情報の蓄積**
- **日本発のグローバルエビデンス発信**



NCC
EPoC

ご支援をよろしくお願い申し上げます